

第九講 シュメール人の生活

農業経済

高度に発達した灌漑に依存



水路網の整備

条播器使用

1ikuにつき 12sila を播く

4回の灌漑

日本のように中耕除草作業はない

収穫 1ikuにつき 182sila～913sila

収穫量／播種量＝15倍～76倍

主要な作物

大麦 98%

エンマ麦 他

玉ねぎ・大蒜・胡瓜・レンズ豆・エンドウ豆

羊が主

羊毛・毛皮・肉・乳・チーズやバター

シュメールのことわざ

「家に住まう意地の悪い妻はあらゆる病よりも悪しきもの。

病んだ心が人を病気にする。

汝の運命を受け入れよ、さすれば汝の母は幸せとなる。

こそ泥となった後、人は仲間外れとなる。

生きている限り、嘘をついて悪事を増やすべきではない。

人は楽しみのために結婚をし、思案を重ねて離婚する。

幸運は準備と知恵を（必要とする）。

手に手を重ねれば、汝の家は建つ。胃袋に胃袋を重ねれば、汝の家は壊される。

多くを食べるものは眠れない。

多くを持つものは警戒を怠らない。多くを得たものは絶えずみはらね

ばならない。
宮廷には無知な輩が満ちている。
好意を返すものには好意を返すものだ。
生きているということは死よりもはるかにまし。
好みのままに妻を娶り、心の欲するまま子供をもうけよ。
私のガールフレンドの心は私のために作られたもの。
はるか古より起こることのなかったもの。それは若い妻は夫に抱かれて
いる時に尻をひることはなかったということ。」

ビール

アッシリア地方は葡萄酒が主
メソポタミア地方はビールが主
16種類ものビール
居酒屋の繁栄

キシュ王朝の創始者は居酒屋のマダム
犯罪者や無頼漢をかくまったとき・・・焚刑
酒を水で薄めて販売したとき・・・溺殺
人妻に酒を進めたとき・・・・・・溺殺

醸造法は不明

原料は大麦（シェ）とエンマ麦（シェ・ジズ・アン）
黒ビール・褐色ビール・白ビール・強口ビール・甘口ビール
ティダビール・ウサビール・・・発酵させたものではなく、麦芽
汁のエキス、薄めて発酵又は温めて甘味料や医
薬品として使用

食生活

大麦・小麦・エンマ麦・粟など
ゴマ（油の木）
パンやオートミールで食べる
魚が重要なタンパク源
50種類の魚の名前

鮮魚・塩魚・干し魚・目刺し

生簀の使用

「10本の指のある頭」＝烏賊

「10本の指のない頭」＝蛸

エビや油を取るための亀

野菜は香辛性のものが多い

玉葱・大蒜・蕪・カラシ・ミズタガラシ・イノンド（セリ科の香草。カレーに使用される）・コリアンダー・キャベツ・胡瓜など

果物

無花果・柘榴・梨・林檎・葡萄・棗椰子など

家畜

ロバ・牛・羊・豚・山羊など

食肉用は羊

天文学は占星術でもあった

惑星を観察・惑星の運行が人間社会に影響を及ぼす

アヌの道（赤道）・エンリルの道（北回帰線）・エアの道（南回帰線）

惑星の近日点の距離も正確の計算

医療

医者は病気の治療をし、呪術師は診察をする

医者はアスー、呪術師はアーシブ

医学のテキスト

「もし人が病気に掛かり、その症状が次のようであれば・・・」

あるいは

「もし人がどこの部分に痛みを感じるならば」

というような問答式

症状→薬の名前と処方→使用法→「その病人は良くなるだろう」

テキストに従った機械的な治療

医薬品は薬草が中心・・・薬草の根や茎、葉、実などをそのまま使用したり、磨り潰したり、煎じたり乾燥させたりして使用

ビールや酢、蜂蜜、脂などと溶いて、飲み薬や座薬として使用

呪術師

呪いを施す

病状を観察、体温を調べ、脈拍を数える

呪術と知恵の神エンキに対して悪霊退散を呼びかける

神と悪魔

最高神はエンリル神→マルドゥク神→アッシュール神

日常では悪魔に祈る

至るところに悪魔は潜む

出産したばかりの妊産婦や出産前の妊婦がよく襲われる

ラマシュトゥ（メスの悪魔）

頭がライオンで、両手に蛇を握り、馬上に立って、犬が両方の乳房にぶら下がっている

新生児を盗む

魔除けとして巨大なライオン像や雄牛の像